

リキッドフィーディングシステムによる大型養豚経営

(千葉県：有限会社 ブライトピック千葉)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
	○		○		農場HACCP

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- ・所在地：千葉県旭市
- ・代表者：代表取締役 志澤 輝彦
- ・溝原飼料工場 面積：9,800㎡
発酵貯留タンク：36t×15基
液体原料タンク：36t×5基（一時保管）
原料受入：約300t/日 出荷量：約260t/日
- 飼料の農場供給率：60%
- ・雇用者数：34名（R4.3時点）（パート含む）
- ・HP等：<http://www.brightpig.co.jp/index.html>



エコフィード工場内部

<取組について>

○ 概要

- ・平成8年5月設立。現在5農場で生産しており、すべての農場で農場HACCP認証を取得。また、自社でリキッド飼料を製造。
- ・コンピューター管理による最新のリキッドフィーディングシステムを日本で初めて導入し、約7万トンのリキッド飼料を自社グループ農場へ供給。
- ・食品工場、流通チェーン（コンビニ等）から排出される製造副産物、未利用食品を有効活用し、積極的にエコフィードの生産・利用に取り組む。
- ・リキッドフィーディングの活用は、豚の消化効率向上によるふん尿の臭気低減、自動給餌による省力化、ドライフードと比較した場合の豚舎内の粉じん軽減による雇用者の労働環境改善等、持続可能な生産に資する取組となっている。
- ・生産された豚肉の一部は、未利用食品を排出している流通チェーン等を通じ、食品リサイクルループを構築。
- ・耕畜連携の一環として飼料用米の受け入れや、規格外農産物（サツマイモなど）を買い上げ飼料の原料にする代わりに、同社で製造した豚ふん堆肥を耕種農家に供給し、循環型農業を展開。

○ 今後の課題

- ・管内で生産された飼料用米をリキッド飼料に配合し、一層の利用拡大の推進。

